

入学式 式辞

大岡山の若草が芽吹き、清流高瀬川のせせらぎが耳に心地良く感じられます。観測史上、最も早い桜前線の北上で、校庭の桜も間もなく満開を迎えます。

本日、晴れて高楯中学校の一年生となられた50名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から皆さんのご入学をお祝いします。

皆さんの、初々しくも堂々とした入場の様子、元気いっぱいのお返事、そして背筋をピンと伸ばし、全体で話を受け止めようとする姿から、それぞれの小学校で最上級生として学校をリードし、力をつけてきたという自信がうかがえます。

きっと、今、皆さんは、「いよいよ中学生になるんだ」という新たな希望でワクワクドキドキする気持ちの中に、ほんの少しの不安が入り混じった気持ちでいることでしょう。

新しい環境に入るときには、だれでも、ちょっとした不安はつきものです。でも、皆さんの周りには、同じ思いで中学校生活のスタートを切ろうとしているたくさん仲間がいます。残念ながら本日は参加していませんが、後輩との出会いを心待ちにしている102名の先輩たちがいます。そしてもちろん、皆さんのがんばりを見守り支えてくれる心強い先生方もいます。心配しないで、思い切って中学校生活を踏み出しましょう。

皆さんには、皆さん自身もまだ気づいていないかもしれない大きな可能性が眠っています。中学校生活三年間は、その可能性という「種」を見つけ、大事に育てる大切な学びの期間です。

そこで今日は、「可能性」という「種」を見つけ育てるためのコツ、5つの「気」を紹介します。それは、「元気」「やる気」「勇氣」「本気」「根気」です。どこかで聞いたことがあるかもしれません。「元気」は何をするにも源となる力です。皆さんの「元気」は仲間を、学校を、そして、地域をも元気にする力

があります。コロナ禍でさまざまな制限がある中ですが、できないと可能性を閉じるのではなく、

「やる気」を持って「できることを工夫」し、「勇気」を持ってトライすることで、自分の中の隠れた可能性の種を見つけましょう。また、何事も「本気」で取り組むことで楽しさは何倍にもなります。その取り組みをコツコツと「根気」強く続けることで、勉強でも部活動でも、大きな成果となってあらわれます。「元気」「やる気」「勇氣」「本気」「根気」を胸に留め可能性という種を育てていきましょう。高楯中のシンボルである校章に咲く「かわらなでしこ」は、夏の暑さにも負けず、大地に力強く根を張って可憐な花を咲かせます。皆さんも、三年後、可能性という種を、自分らしく花咲かせてくれることを、大いに期待しています。

保護者の皆さま、本日は、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。お一人お一人の大切なお子さまが、感動の多い学校生活の中で「明るくたくましく、心豊か」に成長できますように、私たち

教職員一同、愛情を注いで教育にあたってまいります。お子さまが健やかに成長できますよう、手を取り合って育んでいきましょう。

結びとなりますが、50名の新入生一人一人が、良き仲間とともに、5つの「気」を道しるべとして、充実した学校生活を送ることを心から願い、式辞といたします。

令和三年四月八日

山形市立高楯中学校 校長 沢口 肇